



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キトー

コード番号 6409 URL <http://kito.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鬼頭 芳雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長

(氏名) 遅澤 茂樹

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5908-0161

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,695	△12.1	1,437	△4.5	959	△19.6	364	△35.9
28年3月期第2四半期	25,809	40.3	1,505	76.0	1,194	33.7	568	12.7

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △1,737百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 563百万円 (10.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.14	14.12
28年3月期第2四半期	21.65	21.58

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	56,474		18,426			31.1
28年3月期	60,639		26,040			41.2

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 17,571百万円 28年3月期 25,011百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成29年3月期の期末配当予想につきましては、下記の業績予想を踏まえて、平成28年5月13日公表の14.00円から「未定」へと変更いたします。詳しくは添付資料P4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	△5.1	—	—	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

売上高につきましては、国内および北米市場とも、引き続き需要が底堅く推移すると見込むことから、業績予想に変更はありません。営業利益以下につきましては、現時点で合理的な算定が困難であるため、それぞれ「未定」としております。詳しくは添付資料P4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Kito Australia Pty. Ltd. 、除外 1社 (社名)  
詳細は、添付資料P5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	27,048,200 株	28年3月期	27,048,200 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	6,737,016 株	28年3月期	787,016 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	25,765,351 株	28年3月期2Q	26,248,684 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、中国をはじめとするアジア新興国や資源国の景気の減速懸念、不安定な欧州情勢の影響など先行き不透明な状況が続きました。一方、国内は円高進行による企業収益の下振れリスクはあるものの、官民ともに設備の老朽化を背景とした、投資需要の支えにより、総じて回復基調で推移しました。米国でも堅調な消費マインドに支えられ、設備投資、住宅投資に改善の兆しが見えてきました。

このような環境の下、新中期経営計画の初年度として、その経営目標である、高収益体質への回帰、利益・キャッシュの創出と既存事業の生産性、効率の最大化に向けた施策を実行してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、円高による減収影響もあり22,695百万円（前年同期比12.1%減）となりました。利益につきましては、コスト削減などにより利益率確保に努め営業利益は1,437百万円（前年同期比4.5%減）となりました。経常利益は、為替差損の計上などにより959百万円（前年同期比19.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は364百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。当社グループは、当社および連結子会社の所在地別セグメント区分で事業活動を展開しております。

なお、第1四半期連結会計期間より、Scaw Metals Pty. Ltd.（平成28年7月27日付で「Kito Australia Pty. Ltd.」に商号変更）の全株式を取得したため、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めております。当該連結範囲の変更に伴い第1四半期連結会計期間より、「その他」を報告セグメントに追加しております。

セグメントの名称	売上高(前年同期比)	営業損益(前年同期比)
日本	11,920百万円 ( 3.8%減)	2,414百万円 ( 10.0%減)
米州	10,920百万円 ( 15.2%減)	267百万円 ( 82.3%増)
中国	2,810百万円 ( 35.9%減)	303百万円 ( 45.1%減)
アジア	1,859百万円 ( 6.7%減)	△86百万円 (前年同期は198百万円の営業損失)
欧州	622百万円 ( 17.5%減)	△21百万円 (前年同期は 23百万円の営業利益)
その他	412百万円 ( — % )	△14百万円 ( — % )

## (日本)

既存施設の補修工事需要によるインフラ投資関連の動きを捉え、国内市場への出荷は堅調に推移したものの、海外子会社の在庫削減への取り組みに加え、為替の影響も大きく、売上高は前年同期に比べて3.8%減の11,920百万円となりました。営業利益は前年同期に比べて10.0%減の2,414百万円となりました。

## (米州)

米国では、エネルギー産業の投資需要の低迷が継続し、企業の設備投資の先送りがみられました。米州全体の売上高は、円高の進行により10,920百万円（前年同期比15.2%減）となりました。営業利益は、事業の効率化を継続したこと、ブラジル事業の伸長などにより267百万円（前年同期比82.3%増）となりました。

## (中国)

経済の減速を受けて需要が全般的に低調に推移し、売上高は2,810百万円（前年同期比35.9%減）となりました。営業利益は、コスト削減による利益確保に努め、303百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

## (アジア)

中国の景気減速の影響を受けて、地域経済の成長鈍化とともに投資需要が減退するなか、売上高は1,859百万円（前年同期比6.7%減）となりました。利益面では収益の改善策を継続し、86百万円の営業損失（前年同期は198百万円の営業損失）となりました。

(欧州)

原油価格の動向や不安定な欧州情勢等、不透明感が増すなか、売上高は622百万円(前年同期比17.5%減)、営業損失は21百万円(前年同期は23百万円の営業利益)となりました。

(その他)

豪州で買収したKito Australia Pty. Ltd.及びその子会社を第1四半期連結会計期間末より連結範囲に含めた結果、売上高は412百万円、営業損失は14百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は56,474百万円と前連結会計年度末に対し4,165百万円減少いたしました。これは、現金及び預金の減少1,156百万円、受取手形及び売掛金の減少2,423百万円、商品及び製品の増加1,298百万円、その他(流動資産)の減少1,470百万円等によるものです。

(負債)

負債合計は38,047百万円と前連結会計年度末に対し3,448百万円増加いたしました。これは、短期借入金の増加5,209百万円、長期借入金の減少1,643百万円等によるものです。

(純資産)

純資産合計は18,426百万円と前連結会計年度末に対し7,614百万円減少いたしました。これは、自己株式の増加5,462百万円、為替換算調整勘定の減少2,067百万円等によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は7,364百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,157百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは972百万円と前年同期比905百万円収入減となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が1,449百万円、減価償却費が839百万円、売上債権の減少が1,680百万円、たな卸資産の増加が2,656百万円となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは△791百万円と前年同期比47百万円支出増となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が519百万円、無形固定資産の取得による支出が462百万円となったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは△928百万円と前年同期比542百万円支出減となりました。これは、短期借入れによる収入が6,728百万円、長期借入金の返済による支出が1,459百万円、自己株式の取得による支出が5,462百万円となったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきまして、売上高は、国内および北米市場とも、引き続き需要が底堅く推移すると見込むことから、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。一方で営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益は、平成28年9月26日に公表のとおり、当社は欧州事業の強化の一環として、ドイツ連邦共和国のSTAHL CraneSystems GmbH買収のための入札プロセスに参加しており、資産査定のほか買収に関連する諸費用を計上する予定ですが、現時点で合理的な見積もりが困難であるため、それぞれ「未定」としております。今後、具体的な金額が確定次第、速やかにお知らせいたします。

業績予想の見通しの前提となる為替レートは、1米ドル105.0円とし、平成28年5月13日の公表から変更はございません。

## 当期の連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表（A）	53,000	4,300	4,000	2,400	91.39
今回修正予想（B）	53,000	—	—	—	—
増減額（B－A）	—	—	—	—	—
増減率（％）	—	—	—	—	—
（参考）前期連結実績 （平成28年3月期）	55,821	5,221	4,576	2,497	95.13

剰余金の配当につきまして、当社は連結での配当性向20%以上を目処に配当水準の維持向上に努め、平成29年3月期の連結での予想配当性向を30.6%、平成29年3月期の期末配当予想を14.00円としておりましたが、上記の業績予想を踏まえて、平成29年3月期の期末配当予想につきましても「未定」といたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、Scaw Metals Pty. Ltd. (平成28年7月27日付で「Kito Australia Pty. Ltd.」に商号変更)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,529	7,372
受取手形及び売掛金	11,761	9,337
商品及び製品	10,735	12,034
仕掛品	1,599	2,588
原材料及び貯蔵品	1,517	1,300
その他	3,522	2,052
貸倒引当金	△66	△65
流動資産合計	37,599	34,620
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,668	4,401
機械装置及び運搬具(純額)	4,861	4,513
その他(純額)	2,370	2,501
有形固定資産合計	11,901	11,416
無形固定資産		
のれん	2,901	2,441
その他	4,995	4,912
無形固定資産合計	7,896	7,353
投資その他の資産		
投資有価証券	1,337	1,337
繰延税金資産	641	625
その他	1,263	1,119
投資その他の資産合計	3,242	3,083
固定資産合計	23,040	21,853
資産合計	60,639	56,474

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,301	6,023
短期借入金	4,595	9,804
未払費用	2,757	2,081
未払法人税等	644	254
引当金	833	666
その他	939	1,707
流動負債合計	15,072	20,537
固定負債		
長期借入金	14,687	13,044
役員退職慰労引当金	177	186
退職給付に係る負債	2,664	2,545
その他	1,997	1,733
固定負債合計	19,527	17,509
負債合計	34,599	38,047
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,976	3,976
資本剰余金	5,226	5,226
利益剰余金	15,279	15,276
自己株式	△354	△5,816
株主資本合計	24,128	18,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△132	△130
為替換算調整勘定	1,512	△554
退職給付に係る調整累計額	△496	△405
その他の包括利益累計額合計	883	△1,091
新株予約権	36	42
非支配株主持分	991	812
純資産合計	26,040	18,426
負債純資産合計	60,639	56,474

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	25,809	22,695
売上原価	16,796	14,157
売上総利益	9,013	8,537
販売費及び一般管理費	7,508	7,100
営業利益	1,505	1,437
営業外収益		
債務時効益	—	20
その他	96	66
営業外収益合計	96	87
営業外費用		
支払利息	249	192
為替差損	92	282
その他	65	89
営業外費用合計	407	565
経常利益	1,194	959
特別利益		
負ののれん発生益	—	489
特別利益合計	—	489
税金等調整前四半期純利益	1,194	1,449
法人税等	593	1,070
四半期純利益	600	378
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	14
親会社株主に帰属する四半期純利益	568	364

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	600	378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
繰延ヘッジ損益	△31	1
為替換算調整勘定	△22	△2,210
退職給付に係る調整額	15	92
その他の包括利益合計	△37	△2,116
四半期包括利益	563	△1,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	517	△1,610
非支配株主に係る四半期包括利益	45	△127

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,194	1,449
減価償却費	896	839
のれん償却額	195	168
負ののれん発生益	—	△489
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	71
受取利息及び受取配当金	△15	△8
支払利息	249	192
為替差損益(△は益)	△2	299
売上債権の増減額(△は増加)	2,286	1,680
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,608	△2,656
仕入債務の増減額(△は減少)	497	793
未払費用の増減額(△は減少)	△525	△613
その他	△182	102
小計	2,980	1,829
利息及び配当金の受取額	4	8
利息の支払額	△241	△200
法人税等の支払額	△864	△665
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,878	972
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△603	△519
無形固定資産の取得による支出	△158	△462
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	33
その他	17	157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△744	△791
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,782	6,728
短期借入金の返済による支出	△1,445	△1,181
長期借入れによる収入	1,000	900
長期借入金の返済による支出	△1,400	△1,459
社債の償還による支出	△1,000	—
配当金の支払額	△326	△366
非支配株主への配当金の支払額	△69	△50
自己株式の売却による収入	10	—
自己株式の取得による支出	—	△5,462
その他	△21	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,470	△928
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△410
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△381	△1,157
現金及び現金同等物の期首残高	9,777	8,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,395	7,364

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年9月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を5,950,000株の取得を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が5,462百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,816百万円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成28年9月27日をもって終了しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州			
売上高								
外部顧客への売上高	6,048	12,853	4,159	1,993	754	25,809	—	25,809
セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,343	17	226	—	—	6,586	△6,586	—
計	12,391	12,870	4,385	1,993	754	32,396	△6,586	25,809
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,682	146	551	△198	23	3,206	△1,701	1,505

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,701百万円には、セグメント間取引消去△594百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,106百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア	欧州	その他			
売上高									
外部顧客への売上高	6,354	10,885	2,561	1,859	621	412	22,695	—	22,695
セグメント間の 内部売上高又は振替高	5,566	34	248	—	0	—	5,849	△5,849	—
計	11,920	10,920	2,810	1,859	622	412	28,545	△5,849	22,695
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	2,414	267	303	△86	△21	△14	2,863	△1,425	1,437

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△1,425百万円には、セグメント間取引消去△65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,360百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社の総務部門、経理部門及び経営企画部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、Scaw Metals Pty. Ltd. の全株式を取得したことにより、負ののれん発生益489百万円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、Scaw Metals Pty. Ltd. の全株式を取得し、同社及びその子会社2社を連結の範囲に含めたことにより、「その他」を報告セグメントに追加しております。